

日時	2024年 10月 5日 (土) 9:45 ~ 10:30 天候：晴
場所	なにわ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察園・野草広場
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト
参加者	17名(うち子ども 名) 構成:一般参加 0名、エコボラ 17名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	野草広場再生のための維持管理、草刈り、杭・ロープの補修、生き物調査
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 草刈り管理図 (事前レク) 鎌、ハサミ、かけや、杭、ロープ、熊手、一輪車、札
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・アレチヌスビトハギの実が身体について大変だった。 ・アレチヌスビトハギ、セイタカアワダチソウ、カラムシ、ヒナタイノコヅチの繁茂が著しく、選択的に取り除いた。 ・カラムシにはフクラスズメの幼虫がついて、葉がレース状になり、弱ってきた。 ・チガヤへの影響を考え、そばのアレチヌスビトハギとカラムシを取り除いた。 ・畑側の外周路際のところのセイタカアワダチソウは、多数花をつけていたので刈りとった。 ・アキコレ、エノキなどの樹木の実生苗が目立っている者は取り除いた。実生林側の法面のコナラ群は、高く残すようにしている。畑側に近い法面のところは、大きくなると通行の妨げになるが、法面からの立ち入りを防ぐため、ひざ丈ぐらいでよいと思われる。
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場内の探検路に沿って、草丈の管理をします。その後、選択的に取り除く草の刈りこみや、実生の樹木苗の抜根、探検路ロープや杭の補修、野草の名札付けなどを行います。その後各エリアでの作業に分かれ、11:30のエコボラ会議にて、作業内容の報告と打合せをすることがあります。軍手をご持参ください。必要人員 7~8名程度。必要人員 10名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
高橋満子	草刈り	柘元慶子	草刈り
北井暁未花	草刈り	中谷憲一	昆虫調査
芝崎美世子	草刈り	岩永圭司	植物調査
中村有希	草刈り	西田敏子	植物調査
井上壽子	草刈り	北川ちえこ	草刈り、植物調査
小川咲恵	草刈り	木山正隆	草刈り、杭修理、ロープ補修
黒野治美	草刈り	竹原秀樹	草刈り、杭修理、ロープ補修
田中伸二	草刈り	中島一彦	草刈り、杭修理
鈴川博司	草刈り		

いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2024年10月5日(土)	記録者	柘元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



作業開始：まず探検路際から刈る



作業開始：杭が見えない



作業中：ヒガンバナが目立つぐらいに刈った



作業後：探検路の杭が見えるようになった



フクラスズメの幼虫が威嚇するように揺すっていた
カラムシの葉が食われてレース状になっていた



一時期は多く見られたチカラシバの穂が出ていた
踏圧が高く乾燥する場所に繁茂する

日時	2024年10月5日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・林耕太
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		

野草広場

カラムシ、アレチヌスビトハギ、ヒナタイノコヅチの繁茂した草を中心に刈った。アレチヌスビトハギの実が衣服にたくさんついた。

以前優先していたチカラシバの花が徐々に咲いた。イネ科が減少しているので、刈らないように見守りたい。アキノゲシは大きく育ち倒れていたがしっかり実のつくのを待つ為刈り取りは来月にする。

ヨメナの花が沢山咲いていたが背丈の高いカラムシ、アレチヌスビトハギ、チガヤなどに隠れその美しさを演出できないのが残念。繁茂する草の中からヨメナだけを残す作業(決めたエリアの中で)はスタッフの教育が必要だが、刈らねばならない草が多いので時間的に難しい。

先月気がついたハゼノキの実生が大きくなっていたので伐採した。先月に対処を忘れたことが悔やまれる。

草本：29種

アキノゲシ 2,3、アレチヌスビトハギ 2,3、イヌタデ 2、エノコログサ 3、オオバコ 2、カタバミ 2、カラムシ 2、キンエノコロ 3、コセンダングサ 1、コナスビ 1、シロツメクサ 1、スイバ 1、セイタカアワダチソウ 2、タチスズメノヒエ 2、チガヤ 1、チカラシバ 2、ツユクサ 2、トダシバ 2、ノチドメ 1、ヒガンバナ 2、ヒナタイノコヅチ 2,3、ヒメジョオン 2、ヘクソカズラ 1、マメグンバイナズナ 3、マルバツユクサ 2、ヤブガラシ 1、ヤブカンゾウ 1、ヨメナ 2、ヨモギ 1

木本：5種

アキノレ 4、クヌギ 4、センダン 4、ネムノキ ●3、ハゼノキ 4

動物：17種

アカハネオンブバッタ 4、ウンモンクチバ 2、オオタバコガ 2(ヒナタイノコヅチ)、オオハナアブ 4、キタキチョウ 4、シオカラトンボ 4、シロオビノメイガ 4、スカシヒメヘリカメムシ 4、チャバネセセリ 4、ツバメシジミ 4、ハイジマハナアブの一種 4、ハラオカメコオロギ 0声、ヒメジュウジナガカメムシ 4、フクラスズメ 2、ヤマトシジミ 4、ワタヘリクロノメイガ 4、メジロ 0声



この時期の最優占種はアレチヌスビトハギ
実の表面が面テープ(マジックテープ)の形状で、衣服にくっつく
まさに歩行者を狙うように、通路に枝を長く張り出している

